

管理番号	検査項目	掲載日
9 - A - 1	主索の素線切れ状況の判定基準 (SPACEL-EX)	2008-03-31

## 1. 適用

SPACEL-EX (巻上機型式：TML06 シリーズ、TML10 シリーズ) で使用している、樹脂被覆 IWRC 6×S(19)の直径 5mm の主索に適用します。

## 2. 検査方法

各主索の素線切れの状況を表 1 の判定基準に従って確認ください。

## 3. 判定基準

- ・表 1 の要重点点検の状態に達した場合は、主索の交換準備をご検討ください。
- ・表 1 の要是正の状態に達する前にロープ全数を交換ください。
- ・本主索は大臣認定を取得した特殊鋼索となります。

表 1 . 主索の素線切れ状況の判定基準

劣化状態	要重点点検	要是正
素線切れが平均的に分布する場合	1 よりピッチ内の素線切れ総数が 18 本を超えていること又は 1 構成より 1 ピッチ内の素線切れが 3 本を超えていること	1 よりピッチ内の素線切れ総数が 24 本を超えていること又は 1 構成より 1 ピッチ内の素線切れが 4 本を超えていること
素線切れが特定の部分に集中している場合	1 よりピッチ内の素線切れ総数が 9 本を超えていること又は 1 構成より 1 ピッチ内の素線切れが 7 本を超えていること	1 よりピッチ内の素線切れ総数が 12 本を超えていること又は 1 構成より 1 ピッチ内の素線切れが 9 本を超えていること
錆が著しい場合又は切れた素線の劣化が進んでいる場合	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れがあること	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れが 2 本を超えていること
破断素線の断面積が、元の素線の断面積の 70%以下となっている場合 (注 1)	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れがあること	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れが 2 本を超えていること

注 1：破断素線の断面積が 70%以下かどうかは、図 1 の摩耗長さを測定し、図の数値以上であることで判定することができます。

